報道機関各位

令和８年(2026年）９月28日（月）配付

項　　目	１．北海道立北方民族博物館　令和８年(2026年）10月のもよおし
配付資料	開催要項
内容及び報道に当たってのお願い	◆第40回北方民族文化シンポジウム網走 　人新世の北方文化研究―環境・先史・現代社会の視点から― 日　時　令和８年10月17日（土）　９時00分～16時00分 　　令和８年10月18日（日）　９時00分～16時00分 会　場　オホーツク・文化交流センター（大会議室） 　＊詳細は別紙開催要項のとおり ＊道民カレッジ対象講座
担　　当	北海道立北方民族博物館 博物館課　本間　保司（ほんま・やすし） 学芸グループ　中田　篤（なかだ・あつし） 電話0152-45-3888　　ＦＡＸ0152-45-3889 e-mail:tonakai@hoppohm.org　　https://hoppohm.org

報道機関各位

令和８年(2026年) ９月28日 (月) 配付

項　　目	２．北海道立北方民族博物館　令和８年(2026年) 10月のもよおし
配付資料	
内容及び報道に当たってのお願い	はくぶつかんクラブ「ビーズ織りでつくる鈴つきキーホルダー」 日　時　令和８年(2026年) 10月24日 (土)　10時00分～12時00分 会　場　北方民族博物館講堂 講　師　平栗(ひらくり)　美紅(みく) (当館解説員) 対　象　小中学生 定　員　12名 参加料　無料 内　容　北方民族が古くから使ってきたビーズをどのように利用していたかを学んだ後、ビーズを織り機で織ります。最後にうさぎかクマのチャームと鈴を付けてキーホルダーを仕上げます。 ＊道民カレッジ連携講座 ＊ミュージアムポイント対象講座
担　　当	北海道立北方民族博物館 博物館課　鈴木　将譲(すずき・まさよし) 平栗　美紅(ひらくり・みく) 電話0152-45-3888　　ＦＡＸ0152-45-3889 e-mail:tonakai@hoppohm.org　　https://hoppohm.org

オホーツクール cool!

報道機関各位

令和８年(2026年) ９月28日 (月) 配付

項　　目	３．北海道立北方民族博物館　令和８年(2026年) 10月のもよおし
配付資料	
内容及び報道に当たってのお願い	ロビー展「タイガの彫刻家：トナカイの角に想いを込めて」 会　期　令和８年(2026年) 10月31日 (土) から12月13日 (日) 会　場　北方民族博物館ロビー 観覧料　無料 内　容　モンゴル北部の山岳タイガ地域で暮らすトナカイ牧民は、20年ほど前から旅行者向けの土産品としてトナカイ角製の彫刻を制作してきました。本展では、普段はトナカイ牧民として暮らすナラン・ジャルガル氏の作品を中心に、トナカイ角製の彫刻を約30点の資料で紹介します。
担　　当	北海道立北方民族博物館 博物館課　鈴木　将譲 (すずき・まさよし) 学芸グループ　中田　篤 (なかだ・あつし) 電話0152-45-3888　　ＦＡＸ0152-45-3889 e-mail:tonakai@hoppohm.org　　https://hoppohm.org

報道機関各位

令和８年(2026年）９月28日（月）配付

項　　目	４．北海道立北方民族博物館　令和８年(2026年）10月のもよおし
配付資料	
内容及び報道に当たってのお願い	ロビー展「北に魅せられた人３　ロシア文学研究者中村健之介」 会　期　令和８年(2026年）10月31日（土）から12月13日（日） 会　場　北方民族博物館ロビー 観覧料　無料 内　容　ロシア正教を日本に伝えたニコライの日記を発見した、ドストエフスキーの研究家で北海道大学名誉教授の故・中村建之介氏について、約10点の資料で紹介します。
担　　当	北海道立北方民族博物館 博物館課　鈴木　將譲（すずき・まさよし） 学芸グループ　笹倉　いる美（ささくら・いるみ） 電話0152-45-3888　　ＦＡＸ0152-45-3889 e-mail:tonakai@hoppohm.org　　https://hoppohm.org

報道機関各位

令和８年(2026年）９月28日（月）配付

項　　目	５．北海道立北方民族博物館　令和８年(2026年）10月のもよおし
配付資料	
内容及び報道に当たってのお願い	講座「ロビー展解説講座」 日　時　令和８年(2026年）10月31日（土）　10時00分～11時30分 会　場　北方民族博物館講堂 講　師　中田（なかだ）　篤（あつし）（当館主任学芸員） 対　象　一般 定　員　20名 参加料　無料 内　容　ロビー展「タイガの彫刻家：トナカイの角に想いを込めて」の概要を紹介し、展示資料について解説します。 ＊道民カレッジ連携講座 ＊ミュージアムポイント対象講座
担　　当	北海道立北方民族博物館 博物館課　鈴木　將譲（すずき・まさよし） 学芸グループ　中田　篤（なかだ・あつし） 電話0152-45-3888　　ＦＡＸ0152-45-3889 e-mail:tonakai@hoppohm.org　　https://hoppohm.org

第40回　北方民族文化シンポジウム 網走　開催要項
The 40th International Abashiri Symposium

［第40回記念大会］

人新世の北方文化研究
―環境・先史・現代社会の視点から―

[The 40th Anniversary Meeting]

Studies on Northern Cultures in the Anthropocene
—From the Perspectives of Environment, Prehistory, and Contemporary Society—

北方地域を含む世界各地がこれまでになく緊密に結びつくなか、地球規模の気候変動や国際情勢の変化は北方諸民族の文化にも多様な影響を及ぼしています。本シンポジウムでは、40回を記念し、北方文化研究の近年の成果と複雑化する現代における課題、そして今後の可能性について検討します。

◇シンポジウム Symposium

■日　程　　令和 8 年（2026 年）10 月 17 日（土）・18 日（日）　各日 9:00～16:00
Date: 17, 18 Oct. 2026　Time: 9:00-16:00

■開催方法　対面・オンライン方式の併用 The symposium will be held in-person and online.

■会場（対面方式）　オホーツク・文化交流センター（エコーセンター2000）　大会議室
［網走市北２条西３丁目／TEL.0152-43-3704］
Place: Large Conference Room, Okhotsk Bunka Koryu Center / Kita 2 Nishi 3 Abashiri City

■内　容　　国内外の専門家・研究者による研究発表（同時通訳付き）
Contents: Research presentations by domestic and international experts and researchers (with simultaneous interpretation)

■参加無料　Free to participate

＊当シンポジウムは網走市から助成を受けて開催しています。

＊＊道民カレッジ連携講座（予定）

主催　一般財団法人北方文化振興協会・北海道立北方民族博物館
Organizers: The Association for the Promotion of Northern Cultures, Hokkaido Museum of Northern Peoples

後援　網走市、網走市教育委員会、北海道民族学会、北海道考古学会、北海道博物館協会
Supporting Organizations: Abashiri City, Abashiri City Board of Education, Hokkaido Ethnological Society, Hokkaido Archaeological Association, Hokkaido Association of Museums

◇関連事業　　上映会　プージェー（puujee）

探検家・関野吉晴が、南米最南端から人類誕生の地アフリカを目指す旅の途中、モンゴルの草原で出会った少女プージェーとその家族との5年間にわたる交流をとらえたドキュメンタリー映画（2006年公開）

日時　令和 8 年(2026 年)9 月 24 日(木)　18:30-20:30　(18:00　開場)

会場　オホーツク・文化交流センター(エコーセンター2000)　エコーホール

入場無料（整理券が必要です）

※整理券はオホーツク・文化交流センター、フジヤ書店、北方民族博物館で配布しています。

後援　網走市、網走市教育委員会、網走市文化連盟

◇シンポジウム発表者等 Contributors to the Symposium（敬称略）

□発表者　Speakers

エリカ ヒル（アラスカ大学サウスイースト校／教授[アメリカ]）
Erica HILL (Professor, University of Alaska Southeast / USA)

タチアナ デガイ（ビクトリア大学／助教[カナダ]）
Tatiana DEGAI (Assistant Professor, University of Victoria / Canada)

飯島 慈裕（東京都立大学／教授）
IIJIMA Yoshihiro (Professor, Tokyo Metropolitan University / Japan)

石井 花織（東北大学東北アジア研究センター／特任講師）
ISHII Kaori (Specially Appointed Lecturer, Center for Northeast Asian Studies, Tohoku University / Japan)

江畑 冬生（新潟大学／教授）
EBATA Fuyuki (Professor, Niigata University / Japan)

加藤 博文（北海道大学アイヌ・先住民研究センター／教授）
KATO Hirofumi (Professor, Center for Ainu and Indigenous Studies, Hokkaido University / Japan)

岸本 宜久（札幌学院大学／准教授）
KISHIMOTO Yoshihisa (Associate Professor, Sapporo Gakuin University / Japan)

佐々木 史郎（国立アイヌ民族博物館／名誉館長）
SASAKI Shiro (Director Emeritus, National Ainu Museum / Japan)

野本 正博（国立アイヌ民族博物館／館長）
NOMOTO Masahiro (Director, National Ainu Museum / Japan)

佐藤 重吾（北海道立北方民族博物館／学芸員）
SATO Jugo (Assistant Curator, Hokkaido Museum of Northern Peoples / Japan)

□運営委員　Steering Committee Members

加藤 博文（北海道大学アイヌ・先住民研究センター／教授）
KATO Hirofumi (Professor, Center for Ainu and Indigenous Studies, Hokkaido University / Japan)

佐々木 史郎（国立アイヌ民族博物館／名誉館長）
SASAKI Shiro (Director Emeritus, National Ainu Museum / Japan)

呉人 惠（北海道立北方民族博物館／館長）
KUREBITO Megumi (Director, Hokkaido Museum of Northern Peoples)

中田 篤（北海道立北方民族博物館／主任学芸員）
NAKADA Atsushi (Chief Curator, Hokkaido Museum of Northern Peoples)

□同時通訳　Simultaneous Interpreters

加藤 和代 KATO Kazuyo / 田中 恵 TANAKA Megumi

シンポジウム・プログラム　　＊都合により変更することがあります。

10/17（土）	会場：大会議室
08:30	受付
09:00	開会式
09:20	第1部：北方文化研究の可能性 「シベリア博物館学の再考を通じた先住民の現在と未来の向上」　タチアナ デガイ 「継承されたアイヌ語を記録する―これからのフィールドワークに向けて」　岸本 宜久 「環境リスクはいかに存在するのか」石井花織 「物質文化から考える中世の東北アジア―秋田氏伝来「重代小弓」を事例として」　佐藤 重吾 座長：中田 篤
12:00	昼食
13:00	第2部：北方の自然環境と人類史 「北方地域の自然環境史―現在の気候変化からみえてくるもの―」　飯島 慈裕 「移動と交流のダイナミズム：環北太平洋先住民族のグローバルヒストリー」　加藤 博文 座長：佐々木 史郎
16:00	北方民族博物館視察

10/18（日）	会場：大会議室
08:30	受付
09:00	第3部：北方地域の人類学 「21 世紀のシベリア・極東ロシア研究の課題と可能性」　佐々木 史郎 「マルチスピーシーズの名作：西アラスカの物質文化における関係的営み」　エリカ ヒル 座長：加藤 博文
11:30	昼食
12:30	第4部：北方民族文化の保存・研究・活用 「北方言語研究の100年：記述と記録・類型研究・系統論」　江畑 冬生 「アイヌ文化の水辺での経験―ポロトコタンから、ウポポイへ―」　野本 正博 座長：呉人 惠
15:10	総合討論
15:50	閉会式

Program of the Symposium

17 Oct. Saturday	Large Conference Room
08:30	Registration
09:00	Opening Ceremony
09:20	**Session 1: The Potential of Northern Cultural Studies** Uplifting Indigenous Present and Futures through Rethinking Siberian Museology　**Tatiana DEGAI** Documenting Inherited Ainu: Toward Future Fieldwork　**KISHIMOTO Yoshihisa** How Do Environmental Risks Come to Exist?　**ISHII Kaori** Medieval North-East Asia Considered from the Material Culture: Based on the Case of 'Jūdai Koyumi' Bow Passed Down in the Akita family　**SATO Jugo** Chairperson: **NAKADA Atsushi**
12:00	Lunch Break
13:00	**Session 2: The History of Natural Environment and Indigenous Peoples of the North** Natural Environmental History of the Northern Regions: Insights from Current Climate Change　**IIJIMA Yoshihiro** The Dynamics of Migration and Contact: A Global History of Indigenous Peoples in the North Pacific Rim　**KATO Hirofumi** Chairperson: **SASAKI Shiro**
16:00	Visit to the Hokkaido Museum of Northern Peoples

18 Oct. Sunday	Large Conference Room
08:30	Registration
09:00	**Session 3: Anthropology of the North** Issues and Opportunities in 21st-Century Research on Siberia and Russian Far East　**SASAKI Shiro** Multispecies Masterpieces: Relational Engagements in the Material Culture of Western Alaska　**Erica HILL** Chairperson: **KATO Hirofumi**
11:30	Lunch Break
12:30	**Session 4: Preservation, Research and Utilization of Northern Indigenous Cultures** A Century of Northern Language Studies: Description, Typology, and Genealogy　**EBATA Fuyuki** My Experience Along the Water's Edge of the Ainu Culture －From *Porotokotan* to *Upopoy*－　**NOMOTO Masahiro** Chairperson: **KUREBITO Megumi**
15:10	General Discussion
15:50	Closing Ceremony

■北方民族博物館視察　10月17日（土）16:00～17:15（予定）

シンポジウム発表者・参加者による北方民族博物館の展示視察をおこないます。（要予約、貸切バス利用、参加無料）

Visit to the Hokkaido Museum of Northern Peoples (reservation required, FREE to participate)

The Date and Time: 17 Oct. Saturday, 16:00-17:15

■レセプション　10月17日（土）18:30～（予定）　会費：6,000円（当日申し受けます。）

発表者を囲むレセプションを開催します。（要予約）

会場：和と海　晴ル～haru～　（網走市南 5 条西 2 丁目／TEL.0152-43-4121）

Reception (reservation required): 17 Oct. Saturday, 18:30-,　Fee 6,000 yen

The Place: Wa to Umi Haru / Minami 5 Nishi 2 Abashiri City

《《《 参加申し込み 》》》

［対面方式］ In-person Symposium　次の事項について、ファックス、郵便、電子メール等にてご連絡ください。

◇参加申し込み 2026 年 10 月 1 日（木）まで　Application: By 1 Oct.

第40回北方民族文化シンポジウム参加申込書 Application Form (for symposium in-person)

ふりがな 氏　名　Name	住所（県・市町村名） Address 電話番号 Phone Number	北方民族博物館視察 Visit to the Museum (10.17)	 バス利用 Bus Use	レセプション (10.17) Reception
		参　加 Participate 不参加 Not Participate	有 Yes 無 No	参　加 Participate 不参加 Not Participate
		参　加 Participate 不参加 Not Participate	有 Yes 無 No	参　加 Participate 不参加 Not Participate
		参　加 Participate 不参加 Not Participate	有 Yes 無 No	参　加 Participate 不参加 Not Participate

*氏名には必ずふりがなを付してください。

**電話番号は開催内容に大きな変更が生じた場合等の連絡に利用させていただきます。

［オンライン方式］（Zoom ウェビナー）　Online Symposium　by Zoom Webinars

北方民族博物館公式サイト第40回シンポジウムページ（https://hoppohm.org/symposium40.html）から、フォームに必要事項を記入して登録してください。

第40回シンポジウムページ →
Access our web site!

◇オンライン申し込み Online Sign-up: From 1 Sep. to 16 Oct.

2026年9月1日（火）受付開始　～　10月16日（金）正午　締め切り

*登録後、自動返信メールにてシンポジウム参加のためのリンクをお知らせします（自動返信メールが届かない場合、下記まで電話または電子メールにてお問い合わせください。）。

**1 日目と 2 日目でアクセス先が違いますのでご注意ください。

【申し込み・お問合せ先】Application and Contact

〒093-0042 網走市字潮見 309-1 北海道立北方民族博物館内・北方民族文化シンポジウム事務局

Hokkaido Museum of Northern Peoples

Shiomi 309-1, Abashiri City, Hokkaido, 093-0042 Japan

TEL.0152-45-3888 / FAX.0152-45-3889 / E-mail: tonakai@hoppohm.org

（担当　博物館課：本間、学芸グループ：中田）

・個人情報の取り扱いは、北海道立北方民族博物館プライバシーポリシーに従います。

・都合により、内容や日時が変更・中止になる場合があります。